

陸域生態系管理論分野



舟川 晋也 (教授)

真常 仁志 (准教授) 岡本 侑樹 (特定助教)

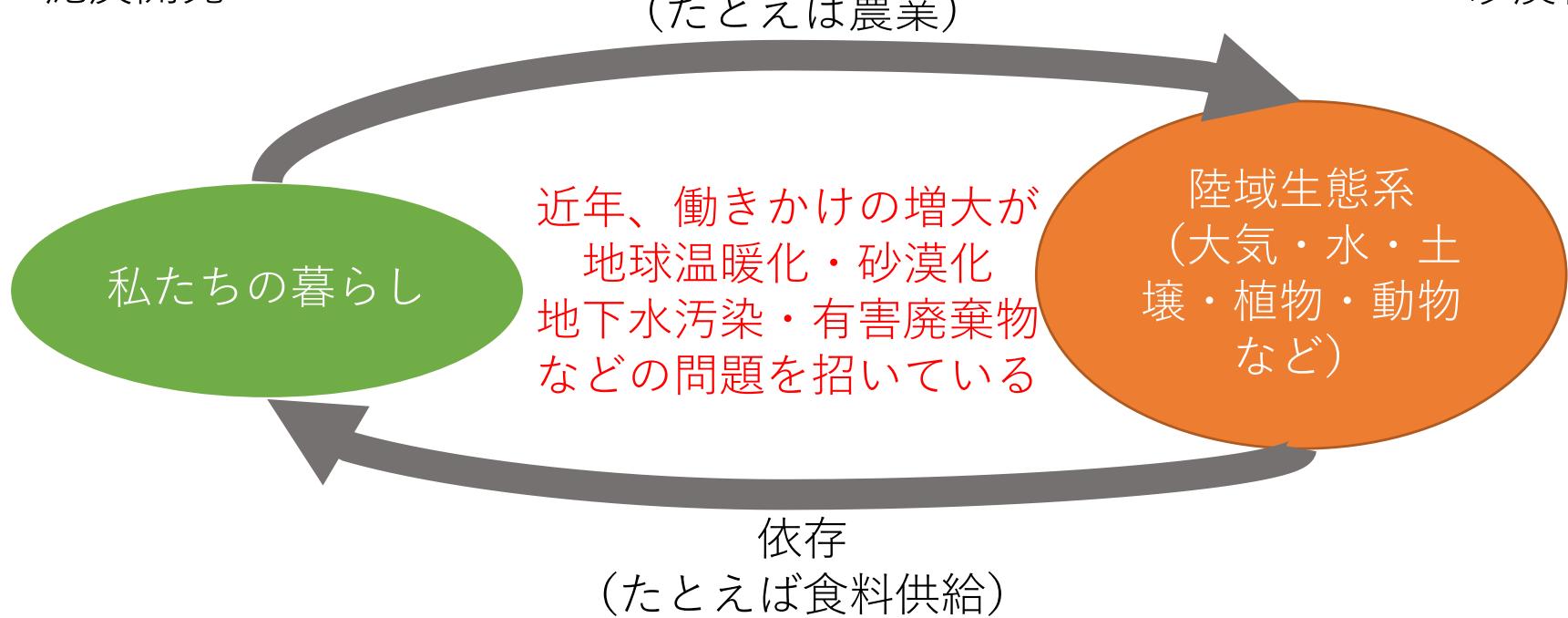


泥炭開発

今後のあるべき陸域生態系の姿と
私たちの働きかけのあり方とは？



砂漠化



1. 生態系内をダイナミックに移動する炭素、窒素、リンなどの元素の動態を物理的・生物的プロセスの面から明らかにする
2. 私たちの働きかけに伴うこれらプロセスの変容を解明し、将来予測を行う
3. その社会背景についても同時に吟味する

最近の研究課題（修士・博士の研究テーマより）

生態環境と暮らしを複合的に理解する

- ベトナム中部の山間地域における少数民族のくらし向上とは？
- ベトナム中部沿岸域の水質形成に対する植林の影響
- ネパール山間部における屎尿の農業利用の可能性
- モンゴルにおけるIT技術の利用が自然保護を促進する可能性

- マラウイにおける土地利用と農業生産性の関係
- マラウイにおける土壤保全技術の実証と普及
- タンザニアにおいて土地管理が土壤肥沃度に及ぼす影響

- 日本の里山における人々の暮らしと自然利用

提案予定の研究テーマ例

アジア

- ヤシと熱帯林の共存は可能か？
(インドネシア・スマトラ島、森林保全)

アフリカ

- 砂漠化対処に向けた生態環境と生業の相互作用の解明
(半乾燥熱帯アフリカ、砂漠化対処)

汎アジア・
アフリカ

- 商業的熱帯農業における養分流出負荷軽減に関する研究
(タイ、タンザニア、環境保全)
- 热帯アジア・アフリカにおける気候変動適応型農業の創出
(アジア・アフリカ諸国、農業開発)

日本

- 里山利用の生態系生態学 (日本、環境保全)

*他研究科、地球環境学舎の他分野との共同研究も行なっています

インターン研修派遣国（例）

インドネシア、ベトナム、ネパール、カザフスタン
カメルーン、タンザニア、マラウイ
日本（NICCO、総合地球環境学研究所など）

就職先（例）

環境省、JICA
NTCインターナショナル、アルメックVPI、三祐コンサルタンツ、
戸田建設、三井物産、丸紅、長瀬産業、IBJ

現地調査



カザフスタン/テンシャン山脈



ベトナム/雨季水没した水田地帯



カメルーン/多雨林の川を渡る



タンザニア/圃場実験